

2022年度マテリアリティKPI実績

評価凡例
 定性/中長期の定量目標に対する評価 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし
 単年度定量目標の評価 ○:達成 ×:未達成

	マテリアリティ	具体的取り組み事項	KPIと目標	評価	2022年度取り組み状況
環境	地球環境保全への貢献 (気候変動対応を含む)	■ 製品・サービスの環境負荷低減	1 環境配慮型製品・サービスの開発	↑	- 環境配慮型製品・サービスの継続的な開発・提供
		■ リサイクルの推進	2 再資源化率 95% 以上	○	98.3% (タツタ電線・中国電線工業・タツタ立井電線) ※2022年度より国内グループ会社も集計 リサイクル材の活用率アップに向けた取り組み など
			3 省資源・省エネルギー投資の促進	↑	- 国内3拠点に太陽光発電設備を導入 - 脱臭装置の排熱を再利用(空調機の再熱ヒーターへの利用) - 駆動制御系更新時に省エネモータを採用 - 照明や空調の自動化 - LED照明への更新 など
		■ 省エネルギーの推進	4 エネルギー使用合理化期待効果 1% 以上削減	○	2.2% 削減 (タツタ電線) 再生可能エネルギーの導入や省エネ機器への更新等で化石エネルギー使用量が論理的に対前年使用量に対して2.2%削減
			5 製品原単位あたり使用エネルギー 1% 以上削減	×	8.9% 増 (タツタ電線) 生産設備の効率化や省エネ投資を進めたが、全体で生産量の減少が影響
		■ カーボンニュートラルの推進	6 CO ₂ 排出量 2025年ネットゼロ (Scope1および2、国内事業所・関係会社を対象)	↑	CO ₂ 排出量 6,365t (タツタ電線・中国電線工業・タツタ立井電線) (対前年68%減) - 機能性フィルム事業は、2022年4月より実質的にカーボンニュートラルを実現 - 国内3拠点で太陽光発電設備の新設・増設により再生エネルギー量を拡大(タツタテクニカルセンター・仙台工場・京都工場) - 段階的に再生可能エネルギー由来電力・カーボンニュートラルLNGへの切り替えを実施
社会	社会に役立つ先端的かつ 高品質な製品・サービスの 提供	■ 社会課題・顧客ニーズにマッチした 製品・サービスの開発	1 社会課題の解決に関連する製品・サービスの開発	↑	- 社会課題の解決に貢献する機能性に優れた製品・サービスの開発 - 技術力を活かした高付加価値製品・サービスの提供
			2 顧客満足度の向上	↑	- 安定供給体制の維持、品質保証体制の拡充 - 社会・顧客ニーズに応える高付加価値製品の開発上市 - 短納期対応 など
		■ 品質保証体制・BCP体制の強化	3 BCP・BCMSの着実な運用	↑	- 機能性フィルム事業で、ISO223001(事業継続マネジメントシステム(BCMS))の認証更新、ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS))認証取得 - システム・エレクトロニクス事業本部で、大規模災害演習やサプライチェーンBCP演習を実施、改善への取り組み - グループBCM体制、BCPの維持・強化、サステナブル調達の推進 など
	安全で働きがいのある 職場の実現	■ 安全衛生諸施策の推進	4 重大災害ゼロ、休業災害ゼロ	×	重大災害： 0件 、休業災害： 3件 、通勤途上重大災害： 0件 (タツタ電線) - 危機体感教育のグループへの拡大 - 作業環境改善投資 - リスクアセスメント勉強会実施 - 災害事故防止への取り組み など
			5 年休取得率の向上 80% 以上	×	75.0% (14.7日) (タツタ電線) 前年度(69.0%(13.1日))から取得率アップ
		■ 持続的成長を担う人材の育成	6 教育研修の充実	↑	- 新人事制度に基づいた「人材育成方針」を策定 - オンデマンド動画視聴型研修 [Udemy Business]の導入 - DX研修導入全社展開 など
			7 障がい者雇用率の維持・向上 2.3% 以上	○	3.15% (タツタ電線) 2023年6月1日時点実績
			■ ダイバーシティ& インクルージョンの推進	8 女性従業員の採用割合 25% 以上	×
	人権の尊重	■ 人権尊重のための啓発活動推進	9 女性管理職比率 2025年度末 10% 以上	→	7.8% (タツタ電線) 前年度(7.5%)からほぼ横ばい キャリア形成研修を検討
			10 人権教育受講推進	↑	- 外部アドバイザーを招聘して「ビジネスと人権」をテーマに人権講演会開催
		■ 良好なコミュニケーションの維持 ■ 地域振興・次世代育成活動への貢献	11 地域コミュニティとの対話の継続	↑	- 社会人バスケットボール部によるスポーツ振興 - 地域スポーツ団体への地区大会や練習会場等での体育館の貸出 - 地域イベントへの協力(HANAZONO EXPO出展・木津川みのり祭出店等) - ふるさと納税制度による寄付(木津川市市民まつり、子どもの未来応援事業) - 工場周辺美化活動などを通じ地域社会への貢献、コミュニティとの対話 など
			12 地域の次世代育成プログラムへの貢献	↑	- インターンシップや中学生の職場体験、小学校への出前授業など、次世代育成活動への貢献
ガバナンス	コーポレートガバナンスの 徹底	■ コーポレートガバナンスガイドラインに 基づく事業運営	1 コーポレートガバナンス・コードへの継続的な対応	↑	- 2021年度改訂のガバナンス・コードへの対応 (取締役の3分の1を独立社外取締役とする、2022年6月 TCFD提言に基づく情報開示)
		■ 各種マネジメントシステムの着実な運用 (リスクマネジメントシステムを含む)	2 全社的マネジメントシステムの着実な運用 (リスク、品質・環境、情報等)	↑	- 事業環境リスクの的確な把握と適切な対応 - 品質・環境、情報マネジメントシステムに関する規程見直し、整備 - 内部監査員の教育、チェックリスト見直し など
		■ コンプライアンス教育・研修の強化 ■ 内部通報制度の活用	3 コンプライアンス研修受講推進	↑	- 大阪府警によるサイバーセキュリティ、情報流出防止に関する講演会 - 中国子会社でコンプライアンス研修を初開催 - 男性育児休業の法改正勉強会 - 購買、知財関連研修 など